この夏デゴイチに乗ろう
有田川鉄道公園でSL復活

有田川町徳田の有田川鉄道公園に搬入して整備をしていた「デゴイチ」の愛称で親しまれる蒸気機関車（SL）D51型が、夏休みに合わせて乗車体験と運転体験が行われており、鉄道ファンや子どもたちにとって思い出作りの夏の熱いプレゼントになりそう。

デゴイチの乗車体験は5日(土)、6日(日)、26日(土)、27日(日)の午前11時、午後1時、2時、3時で行われ、コースは全長約400㍍。料金は大人（高校生以上）500円、小中学生300円、幼児は2名まで無料。

運転体験は4日(金)、25日(金)で午前10時～4時に重さ100㌧が走行コースは園内の線路約200㍍を2回運転する。運転体験ができるのは高校生以上で事前講習を受けデゴイチに乗り、運転台や車両の説明のあと運転する。料金は一人600円、運転時の記念写真がもらえる。運転体験については、前もって申し込みが必要で、多数の場合は抽選となる。

このデゴイチは終戦の翌1946年から1973年まで27年間、岐阜県を中心に運行した。D51の827号機で、4月18日、有田鉄道の廃線跡に作られた有田川鉄道公園に搬入された。車両は大阪市の運送会社「アチハ」が所有し、走行できるよう整備が行われ、復活が待たれていた。

鉄道マニアに神サマ的な存在のD51は1930～40年代に約1100両が製造され、今回復活した827号機は43年製で、約215万㌔を走行。引退後、愛知県内の個人が所有し、死後は遺族が管理していたが、アチハがテーマパークや自治体に集客が見込めるリース事業を計画して購入。有田川鉄道公園を管理する有田川町と車両の保管場所で合意した。動力源は石灰を使わず圧縮空気に変ったが煙を吐き出す装置を備えた。全長約20㍍、幅約3㍍、高さ約4㍍に重さ100㌧が走る雄姿は迫力満点。

このデゴイチが、この夏、大人にも子どもたちにも大きな夢を届けてくれそうだ。

問い合わせは有田川町役場商工観光課、梅本さん☎0737・52・2111（内線822・164）

デゴイチの乗車体験は大人気

SLファンでにぎわう有田川鉄道公園

「学校のおばけ屋敷」見物はいかが？
5～15日　有田川町五西月小学校

廃校におばけがでるという噂は本当なのか…。有田川町本堂の休校中の五西月（さしき）小学校の校舎を会場に「学校のおばけ屋敷in有田川2017」（町教育委員会主催）が5日(土)～15日(火)午前10時～午後4時で開かれる。

5日は、このおばけ屋敷を監修する怪談物の絵本作家の山本孝さんが来場するほか、オープン記念としてオリジナルグッズを先着100名にプレゼントする。入場料は小学生以上500円。7日(月)～10日(木)は300円。

学校の各室はリアルに改装され、各室の恐怖に打ち勝って出口にたどりつくと大人でも安ど感が得られるという内容。会場には、おばけに変身して写真を撮るコーナーやおばけ作り、地元農家さんの新鮮野菜、オリジナルグッズなどの販売のほか土・日・祝日には県内の美味しい店も登場する。

有田川町は2010年ごろから「絵本によるまちおこし」に取り組んでおり、このおばけ屋敷もその一環。町内の中学生や有田中央高校の生徒らがボランティアで協力している。昨年は2000人以上の家族連れらでにぎわった。

問い合わせは有田川地域交流センターALEC☎0737・52・2730。

「花園あじさい園」が見頃
高野龍神スカイライン

高野龍神スカイライン（国道371号）のかつらぎ町花園久木にあるドライブイン「花園あじさい園」（朝本校央代表）で、約3500株のアジサイが見頃を迎え、ライダーや車が立ち寄り今年2度目のアジサイの花を楽しんでいる。

ホンアジサイやガクアジサイなど中心に50種類が栽培されているというが、ほとんどがあでやかなブルーで夏山と空にさえる。

あじさい園は、標高1000㍍付近にあり日高地方の海岸沿いに比べると気温は7～8度低い。入園料は大人200円、8月10日までオープン。問い合わせは同園☎0737・26・0888。

アジサイを見るだけでもスカイラインを走る価値あり

湯浅まつり人出でにぎわう
次々打ち上がる花火に歓声

7月22日、湯浅広港周辺で開催された「祝日本遺産認定第41回湯浅まつり」（同実行委員会主催）の花火大会は、有田・日高地方で一番早い大きな花火大会とあって付近市町から大勢の人出でにぎわい、町の人口は2倍に膨れ上がった。

海岸通りから港保育園跡地のステージまでは早くから100軒近い夜店が軒を重ね、マーチンバンドや湯浅幼稚園児による鼓隊パレードがスタート。湯浅ぞめきが踊り練り歩き、盆おどり大会が始まるころは家族連れやカップルらで身動きがとれないくらい人であふれた。

午後7時が過ぎると北町通りの重要伝統的建造物群保存地区の行灯がライトアップされ花火が上がるまで多くの人が訪れた。その後、アマチュアカメラマンらは行灯と打ち上がる花火を一枚の写真に撮ろうとシャッターチャンスを伺った。

花火はステージイベントなどの進行の遅れもあり予定より15分遅れの8時30分にスタート。間断なく打ち上がる2500発の花火を一等地で見ようと、なぎ大橋の上には浴衣姿の学生やカップルも多く路上を歩くのもままならないほど。夜店の一角に「湯浅なす」の試食と販売があり、焼きなすの中は150円でとろけるように柔らかくておいしかった。

スタートが遅れ9時を過ぎても打ち上がる花火に「何か得した気分やね」と最後まで夜空を彩る花火を楽しんでいた。

にぎわう夜店のバックで花火が上がる

北町通りで行灯がライトアップ

11日は紀文まつり
2000発の花火とイベント　有田市

第38回紀文まつり（同実行委員会主催）は11日(金)午後5時から有田市役所周辺で開催する。

嵐の海に船出して江戸にみかんを運んだ豪商、紀伊国屋文左衛門にちなんだ夏まつりで午後8時20分、有田川河川敷から打ち上げられる2000発の花火のだいご味を有田川両岸から間近で楽しめる。また、沿道に立ち並ぶ夜店約80店や各種イベントが紀文まつりを盛り上げる。

午後5時から消防庁舎前特設ステージで「紀文まつりONステージ」のコンサートが始まり、大峯章嗣ライブもある。文化福祉センター前の紀文マーケットも午後5時スタート。黄昏ライブKI・BU・Nがあり「紀文よさこい～つなげ！紀文音頭～」が同センターから市役所まで踊り練り歩く。荒天の場合は翌日12日(土)に延期。

問い合わせは同事務局☎0737・83・1111（内線27）

夜店約80店も紀文まつりの風物詩

県花コン参加者募集中

県庁県民生活課は花いっぱいコンクールの参加者を募集中。参加対象（家庭の部）は、敷地の外部から花壇を鑑賞できるようにしていることが条件。そのほか、学校の部、職場・地域の部がある。

応募は参加申し込み書に必要事項を記入し、写真を貼付。8日(火)必着。参加申込書、詳細は県のホームページか県民生活課☎073・441・2598。

8月献血日程

有田管内の日程は次の通り。

▽9日(水)〈有田市〉㈱オークワ箕島店＝午前10時～正午、午後1時～4時30分。

▽10日(木)〈湯浅町〉有田振興局＝午前10時～午後1時30分、有田川町地域交流センターALEC＝午後2時～4時30分。

▽11日(金)〈湯浅町〉㈱オークワ湯浅店＝午前10時～正午、午後1時～4時30分。

▽18日(金)〈有田川町〉有田川町役場吉備庁舎＝午前10時～午後12時30分、有田川町地域交流センターALEC＝午後2時～4時30分。

▽29日(火)〈有田市〉JAありだ箕島支所＝午前10時～11時30分、有田市立病院＝午後1時～2時30分、桜ケ丘病院＝午後3時30分～4時30分。

水子供養会

平成29年8月20日（日） 19:00～ 法要・焼供養

初めての方、どなたでもお申し込みできます。

弘龍庵水子供養御和讃

闇より闇に　消え果てし
有縁無縁の　みどり子を
あわれみ給いて　地蔵尊
大悲のみ手に　いだきあげ
南無阿弥陀仏の　功徳にて
永遠の浄土に　住み遊ぶ

◎個人の秘密は厳守いたします（名前は出ません）。
◎古いお札も供養させていただきます。

お問い合わせは

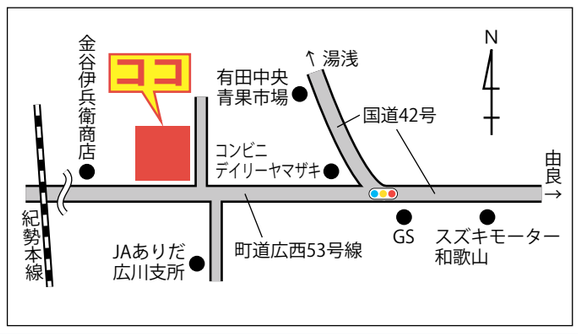
弘龍庵本部
日高郡印南町島田1869-1　☎0738-43-0036
Fax 43-1177

有田道場
有田郡湯浅町別所361　☎0737-63-0988

JR切目駅より南へ1km
駐車場完備

西岡としき
後援会事務所開きのご案内

このたび、下記のところに後援会事務所を開設し、
右記の日時で、事務所開きを行いますのでご案内申し上げます。



と　き　平成29年8月12日(土)
午前10時より
ところ　広川町広578番地の1
TEL　0737-63-1801
FAX　0737-63-1802

西岡としき後援会　会長　松林 実

お知らせ（お願い）

開店時から消費税を頂かず頑張ってまいりましたが近年の物価の高騰、消費税の増税などにより消費税を提示価格にプラスさせて頂きたいと思います。つきましては

平成29年10月1日(日)

からお願いしたいと考えています。誠に勝手ではございますが、何卒御了承の程、宜しくお願い致します。

COCO理美容　店主